

附章 滋賀県下出土の磨製石剣・石戈の資料

西 田 弘

滋賀県高島郡新旭町針江の針江南遺跡に関する調査結果の報告が公にされるに当り、その出土遺物の中に磨製石剣が含まれているため、これに関連して県下出土の磨製石剣・石戈の資料を集成付載することとなった。

県下出土の磨製石剣に就いては、1968年10、11、12月発行の「滋賀文化財研究所月報」の7、8、9の3号にわたり、黒崎直氏を中心に「滋賀県下発見磨製石剣資料」として12個の磨製石剣が報告された。この時報告されたのは、当時知られていた県下出土の磨製石剣の総てであったが、これらはたまたま発見されたものであり、学術調査による発見の資料は一例も含まれていなかった。従って、完形又はある程度の長さを有するものばかりで、人の目にとまりにくい小破片は1点も存在しなかったのである。その後各地で工事等に伴う事前の調査が実施されるに従い、発見例もその数を加え、その中には、完形品又はそれに近いものもあるが、小破片が数多く含まれている。また、未製品と推測されるものや、本来は磨製石剣であったのが、後にその先端部だけを磨製石鎌として再加工したと推考されるものも数点認められるのである。今回の資料の集成に当っては、推測の域を脱しない再加工の磨製石鎌は除外し、現在までに知られたものを一覧表として示すこととした。個々の遺跡の詳細な説明は、既に報告されているものも多いので重複を避けたく、文献欄に掲げた報文により遺物の実状を承知されたい。ただ読者の理解の一助ともなればと考え、遺物の写真を掲載することとした。現在その遺跡の出土品が整理中のため、報告が未公刊のものもあるが、それらに就いては、調査時に行なった略測値を一覧表に述べておいたので、正式報告の際の正確な計測の結果と若干の誤差があるかも知れないことを述べて、詳細はその報告書の公刊される日を待ちたい。ただ、昭和46年調査された長浜市鴨田遺跡出土の鉄剣形石剣の1破片と石戈と思われる1破片については、報告の機会も無いと思われる所以、この紙幅を借りて、その概要を報告することとする。

長浜市鴨田遺跡出土鉄剣形石剣破片

片面が剥離した現存長4.7cmの破片である。幅は、片がわは刃部まで残っているが、他は片面剥離の際剥離してしまったようで、復元すれば3.8cmあったと推定される。

また、厚さも復元して0.8cmと推測される。剣身中央部あたりの破片であるため、茎端部や刃先の姿は不明である。残った片面で見ると、鎬がつくられている。出土位置は、当時の調査のデータで「G 29 F 黒色土層」である。

長浜市鴨田遺跡出土石戈

両面が剥離した基部の破片である。片がわの刃部がかろうじて残っており、それを見ると刃部が僅かながら内彎しているため、磨製石剣とするにはやや不自然さが認められる。したがって、一応石戈と見ておく。ただし、茎の部分は僅かに認められるだけである。その出土位置は「G 20 D 溝 8 上層」である。

＜参考文献＞

- ① 小江慶雄 滋賀県新旭町安井川御屋敷弥生遺跡について（史想7）
- ② 西田弘 高島郡新旭町安井川の弥生式遺跡（滋賀郷土史1）
- ③ 黒崎直 高島郡新旭町安井川御屋敷遺跡発見磨製石剣（滋賀文化財研究所月報9）
- ④ 林博通ほか 美園遺跡発掘調査報告
- ⑤ 山口順子・兼康保明 高島郡今津町弘川遺跡（ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書VII-3）
- ⑥ 有光教一 朝鮮磨製石剣の研究
- ⑦ 西田弘・黒崎直 大津市滋賀里茶山発見磨製石剣（滋賀県文化財研究所月報8）
- ⑧ 田辺昭三ほか 湖西線関係遺跡調査報告
- ⑨ 吉谷芳幸ほか 大伴遺跡発掘調査報告
- ⑩ 西田弘・黒崎直 大津市膳所本町地先湖底遺跡発見磨製石剣（滋賀文化財研究所月報7）
- ⑪ 近江栗太郡志1
- ⑫ 島田貞彦 有史以前の近江（滋賀県史蹟調査報告第1冊）
- ⑬ 木原克司 草津市志那中遺跡出土遺物と層序（ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書III-II）
- ⑭ 山崎秀二 吉身西遺跡発掘調査抄報（乙貞第14号）
- ⑮ 山崎秀二ほか 発掘だより5、下之郷遺跡（乙貞19号）
- ⑯ 大橋信弥 守山市服部遺跡出土の磨製石剣について（滋賀文化財だよりNo.28）
- ⑰ 岩崎直也 湖東における高地性集落の調査（滋賀文化財だよりNo.68）
- ⑱ 谷口義介 湖北の遺物（中日新聞）
- ⑲ 中谷雅治ほか 長沢遺跡（国道8号線バイパス関連遺跡調査報告書III）
- ⑳ 山崎秀二ほか 守山市欲賀町所在欲賀南遺跡（守山市文化財調査報告書第10冊）

- ㉑ 滋賀県史蹟名勝天然紀念物概要
- ㉒ 小江慶雄 琵琶湖先史土器序説
- ㉓ 西田弘・黒崎直 大津市錦織町皇子山発見磨製石剣（滋賀文化財研究所月報8）
- ㉔ 黒崎直 大津市瀬田神領町三大寺山出土磨製石剣（滋賀文化財研究所月報7）
- ㉕ 西田弘 大津市膳所本町地先湖底発見磨製石剣（滋賀文化財研究所月報8）
- ㉖ 黒崎直 草津市志那中町出土磨製石剣（滋賀文化財研究所月報7）
- ㉗ 江南洋・田村陽子 近江八幡市北之庄出土磨製石剣（滋賀文化財研究所月報7）
- ㉘ 黒崎直 長浜市北舟町地先湖底発見磨製石剣（滋賀文化財研究所月報8）
- ㉙ 黒崎直 東浅井郡湖北町尾上地先湖底発見磨製石剣（滋賀文化財研究所月報8）

滋賀県下出土の磨製石剣・石戈一覧表

法量欄 現は現存値 復は復原値を示す

出土地	法量(cm)			所蔵者 (保管者)	備考	写真番号	文献番号
	長さ	幅	厚さ				

有柄石剣

新旭町安井川	現14.9	3.65	1.15	新旭町教委	上半部	13	①② ③④
大津市真野京ヶ山	現5.8	4.5	復1.6	滋賀県教委	基部に近い部分の破片	19	

鉄劍形石剣

今津町弘川遺跡	現22.4	3.1	0.7	滋賀県教委	剣先部を欠くほぼ完形品	14	⑤
新旭町針江南遺跡				同上	本報告書で報告		
新旭町安井川	現8.4	3.8	1	新旭町教委	剣先部を欠く上部破片	44	③④
大津市滋賀里茶山	14.9	2.7	0.6	近江神宮	完形、欠損後の再加工品と推考される。	7	⑥⑦ ㉑
大津市湖西線関係遺跡	現5	復3.4	0.8	滋賀県教委	破片 Ⅲ E区	43	⑧
	現2.8	現2.8	0.7	同上	破片 Ⅲ E区	39	⑧
大津市皇子山	現17.8	3.75	1	近江神宮	下半部	1	⑥㉃
大津市瀬田三大寺山	現9.2	2.5	0.7	建部大社	剣先部を欠く上半部	27	⑪⑫ ㉔
大津市南滋賀大伴遺跡	現5.6	現3	1	滋賀県教委	破片	22	⑨
	現5.3	現2	現0.3	同上	報告書では、石庖丁としているが、石剣の可能性を註記している。	28	⑨
	現4.7	現2.2		同上	破片、全面殆んど剥離刃部のごく一部が残存している。一応石剣と推定。	21	
	現3.8	現2	現0.6	同上	破片 石剣と推定	29	
大津市錦織大將軍遺跡	現7.8	現3.8	0.9	同上	基部の破片	25	
	現5.7	現2.65	現0.4	同上	破片	24	
大津市膳所地先湖底	31.7	4.6	1.2	小田利広	完形	15	⑩

				(県立琵琶湖文化館)			
	23.6	3. 4	0. 9		完形、火災にて焼失、基部の状態から再加工。	4	㉙
草津市志那中	21.2	3.05	0. 9	中村史彦 (県立琵琶湖文化館)	完形	5	㉑㉒ ㉖
草津市志那中	現 4	現 4	現 0. 7	滋賀県教委	破片	/	㉓
守山市下之郷遺跡	現12.2	4. 1	1	守山市教委	基部の一部を欠く下半	/	㉕
守山市下之郷遺跡 (旧称吉身西遺跡 地域)	現 7. 1	現 3. 4	1. 4	守山市教委	基部の破片、刃部一部残存	40	㉔
	現 8. 5	現 3	0. 7	守山市教委	基部だけで身部を欠く	16	㉔
	現 4. 7	現 3. 2	0. 8	同 上	剣先部の破片	17	
	現 9. 3	現 2. 2	1. 2	同 上	片がわのみの一部破片	18	
	現11.2	現 2. 7	現 0. 6	同 上	両面剥離、一部が残存	8	
	現 3. 7	2	1. 3	同 上	茎部の破片、身部が欠落しているので石剣と断定できない。	41	
守山市播磨田東 遺跡	11.8	2. 7	0. 6	守山市教委	特殊器形、基部に一部欠損があるがほぼ完形	20	
守山市服部遺跡	復22.9	3. 5	1. 1	(守山市埋文 センター)	剣先部の少部を欠くほぼ完形 A地区 5号方形周溝墓上層	10	㉖
	現13.3	3. 55	1	(同 上)	下半部 D地区住居址	9	㉖
	現 9. 6	3	0. 7	(同 上)	下半部 D地区溝内	11	㉖
	現 3.35	2. 1	0. 6	(同 上)	剣先部 B地区住居址	34	㉖
	現 4. 8	2.85	0.78	(同 上)	破片 D地区住居址	37	㉖
	現 4. 8	2. 7	0.98	(同 上)	破片 B地区住居址	35	㉖
	現 6. 3	3.15	復 0. 9	(同 上)	破片	33	
	現 4. 2	現 1. 7	復 1. 6	(同 上)	片面剥離の破片	36	
	28	5. 8	1. 4	(同 上)	磨製石剣の未製品と推定	42	

竜王町岡谷堤ヶ谷遺跡	21.2	5.2	1	滋賀県教委	有柄式の完形品	23	⑯
近江八幡市北之庄	現10.2	2.4	0.8	江南洋 (近江八幡市郷土資料館)	下半部	2	㉗
能登川町キヌガサ	13.5	3.7	0.9	中村慶次郎	基部の再加工	12	㉘
近江町宇賀野	16.1	3.2	0.9	滋賀県教委	完形	26	㉙
近江町長沢	現11	4	復1	長沢公民館	剣先部を欠く上半部、片面 ほとんど剥離	30	㉚
長浜市鴨田遺跡	現4.7	復3.8	復0.8	滋賀県教委	破片、片面剥離	45	
長浜市鴨田遺跡 (ほ場整備関連)	現3.7	現3	復1	長浜市教委	剣先部破片、片面一部剥離 面あり。	/	
	現3.6	現2.7	現0.7	同上	剣身部の破片	38	
	現9.2	現1.7	現0.5	同上	一部残存	/	
	現7.3	2	0.6	同上	剣先部及び下半を欠く 細いので確言をはゞかる	32	
	現7.6	3	現1.1	同上	一部に研磨、未製品か	/	
長浜市北舟町地先 湖底	20.1	3.45	1.25	岡本保次郎 (近江風土記丘資料館)	完形	3	㉛
湖北町尾上地先湖 底	20.5	3	0.65	尾上公民館	完形	6	㉚㉛ ㉚㉛

石 戈

今津町弘川遺跡	現14.4	現5.2	0.9	滋賀県教委	石戈未製品	31	⑤
守山市欲賀南遺跡	現4.8	現3.8	現0.5	守山市教委	破片、片面剥離の有穂石戈	46	㉚
長浜市鴨田遺跡	現5.5	現2.5	現0.5	滋賀県教委	基部の破片、両面剥離	47	

- 註 1. 当表に記載しなかったが、大津市南大萱東光寺遺跡（滋賀県教委調査）出土品中に、あるいは磨製石剣とすべきかとも思われるものが一点ある。これについては今後の研究に待ちたい。
2. 当表写真番号欄の「/」は図版に掲載されていないことを表示するもので、当該遺物の写真が無いのではない。